

◆科学技術の最前線

講座番号 ③-5

主 題 文部科学省の「研究大学強化促進事業」、「橋渡し研究加速ネットワークプログラム」、厚生労働省の「臨床研究中核病院」に選定されている岡山大学から、身近で興味深い話題を選んでお話をいたします。

今年度は、地球温暖化の原因や、今や生活の一部となっている携帯電話の未来、また豊かな生活をささえるおいしい果物についてのお話、さらにはがんや糖尿病といった現代病について免疫学の観点からご紹介いたします。

時 間：午後6時30分～8時30分
場 所：築地社会教育会館
回 数：4回
受講料：1,200円
定 員：60名

回数	日程	講義内容	講師名
第1回	11/ 6 (金)	地球温暖化の原因を正しく理解する ～100年後の世代のために～	野沢 徹
第2回	11/13 (金)	移動通信のこれまでとこれから ～携帯電話・スマートフォン・その後?～	秦 正治
第3回	11/20 (金)	おいしいくだものを作る科学と技術 ～くだもの王国 岡山から～	森永 邦久
第4回	11/27 (金)	免疫と生活習慣・病気について ～ストレスを味方につける～	鵜殿 平一郎

講師紹介

野沢 徹 (のざわ とおる)

岡山大学大学院自然科学研究科教授。1968年生まれ。1996年京都大学大学院理学研究科博士課程研究指導認定退学。京都大学博士（理学）。国立環境研究所地球環境研究センター気候モデリング・解析研究室長などを経て、2013年より現職。コンピュータシミュレーションを援用して、過去から将来にかけての気候変動・変化のメカニズム解明に関する研究を行っている。気候変動に関する政府間パネル（IPCC）の報告書作成にも貢献。

秦 正治 (はた まさはる)

岡山大学大学院自然科学研究科教授。1950年生まれ。1975年九州大学大学院修了。電電公社電気通信研究所、NTT移動通信網株式会社（現NTTドコモ）研究所などを経て、2001年より岡山大学工学部教授。一貫して移動通信システムの研究開発に従事。特に、デジタル信号伝送技術や無線回線設計法の確立、無線方式の国際標準化に携わる。2013年、移動通信発展への貢献により総務大臣表彰受賞。

森永 邦久 (もりなが くにひさ)

岡山大学大学院環境生命科学研究科教授。1951年生まれ。九州大学博士（農学）。農水省所管国立研究機関における研究（途中オーストラリアに留学）を経て、現職。水分ストレスと果実の品質、生体情報の非破壊評価、気候変動が果樹に与える影響など果樹の品質・生産と環境に関わる先端的な研究を行う。国立研究機関在勤中には天皇皇后両陛下ご臨席のもと果樹の古品種を皇居に植栽したり、NHKクローズアップ現代（2009年12月）「気候変動と果樹の特集」に出演。

鵜殿 平一郎 (うどの へいいちろう)

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科教授。1959年生まれ。1990年3月長崎大学医学研究科博士課程修了。免疫学、とりわけ腫瘍免疫学における新しいがん免疫治療法の研究・開発を手がける。各種ストレスに対する生体応答（ストレス応答）から読み解くユニークな免疫学の世界を構築。ストレスに抵抗しようとする力こそが、生体防御にとって重要と考える。また、糖尿病とがんに共通する免疫機能低下に着目、がんを代謝ストレス病（生活習慣病）の一つと捉え、2型糖尿病治療薬メトホルミンを用いた癌治療研究・開発に着手。